

4年国語科学習指導案

2006年 2月27日(月) 4校時

児童 4年1組 37名

指導者 T1水口 正紀 T2坂本 育美

I、単元名『見方を変えて話し合おう(ポスターセッションで発表しよう)』

II、単元について

この単元は、『「便利」ということ』(説明文教材)と、伝えたいことを選んで自分の考えがわかるように筋道を立てて話す『ポスターセッションで発表しよう』(音声言語教材)を組み合わせたものであり、4年生なりに自立と共生を考えることをねらいとしたものである。

III、授業作りの視点

視点1について

《話す・聞く力を高めるための単元構成》

身近なものをテーマにして、調べる活動が活発になるようにする。

《話す・聞く力を高めるための学習形態》

個：テーマについての自分なりの考えをもつ グループ：班で相談してポスターを作成 全体：発表する側、聞く側のねらいを明確にして、ポスターセッションに参加する

視点2について

《子どもの意欲を高める評価》

話す・聞くということの意識を高めるために、自己評価カードを使用してふり返りを大切にする。また、声かけによる評価と支援を意識して行っていく。

IV、単元の目標【話す・聞く】

ポスターセッションを通して、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。

- ・伝えたいことを選び、自分の考えがわかるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。
- ・話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめることができる。
- ・互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うことができる。

V、単元の全体指導計画(指導時数10時間:ポスターセッションで発表しよう)

	主な学習内容	評価等
1	<p>ポスターセッションに挑戦!</p> <p>ポスターセッションの方法を学ぼう</p> <p>ポスターセッションって何かな?どんなことをするのか?</p> <p>目的・ポスターの作り方・発表の方法</p>	<p>伝え合いたい場面設定</p> <p>一人学びの場面</p> <p>・ポスターセッションに向けて、どんなテーマにするのか自分の考えをもつ。</p> <p>話す・聞く 関心・意欲</p> <p>グループ交流の場面</p>
2	<p>発表テーマを決め、ポスターにまとめよう!</p>	<p>・どんなテーマにするのか、各自の考えを出し合い決定していく。相手意識を大切に。</p>
3	<p>何をテーマにしようかな? どんなまとめ方にしようかな?</p> <p>相手意識を大切に</p>	<p>・グループ内で役割分担を決め、協力して取り組んでいく。</p>
4	<p>資料集め(インタビュー、アンケート、インターネット)</p>	<p>話す・聞く 関心・意欲</p>
5	<p>表・グラフ・絵の活用・見出しの工夫</p>	<p>書く</p>
6	<p>ポスターセッションをやってみよう</p>	<p>全体交流の場面</p>
7	<p>《話し手》</p>	<p>・発表者は、相手意識をもって発表する。</p>
8	<p>効果的な発表</p>	<p>・聞く方も、質問するなど自分の考えをもって参加。</p>
9	<p>話し方 相手意識</p> <p>交流</p> <p>聞き方 質問</p> <p>意見の言い方 意見</p>	<p>話す・聞く 関心・意欲</p>
10	<p>グループでの練習 自己・相互評価、聞き取りメモ、発表メモ</p> <p>ふり返り:ポスターセッションを終えて</p>	

VI、本時の学習

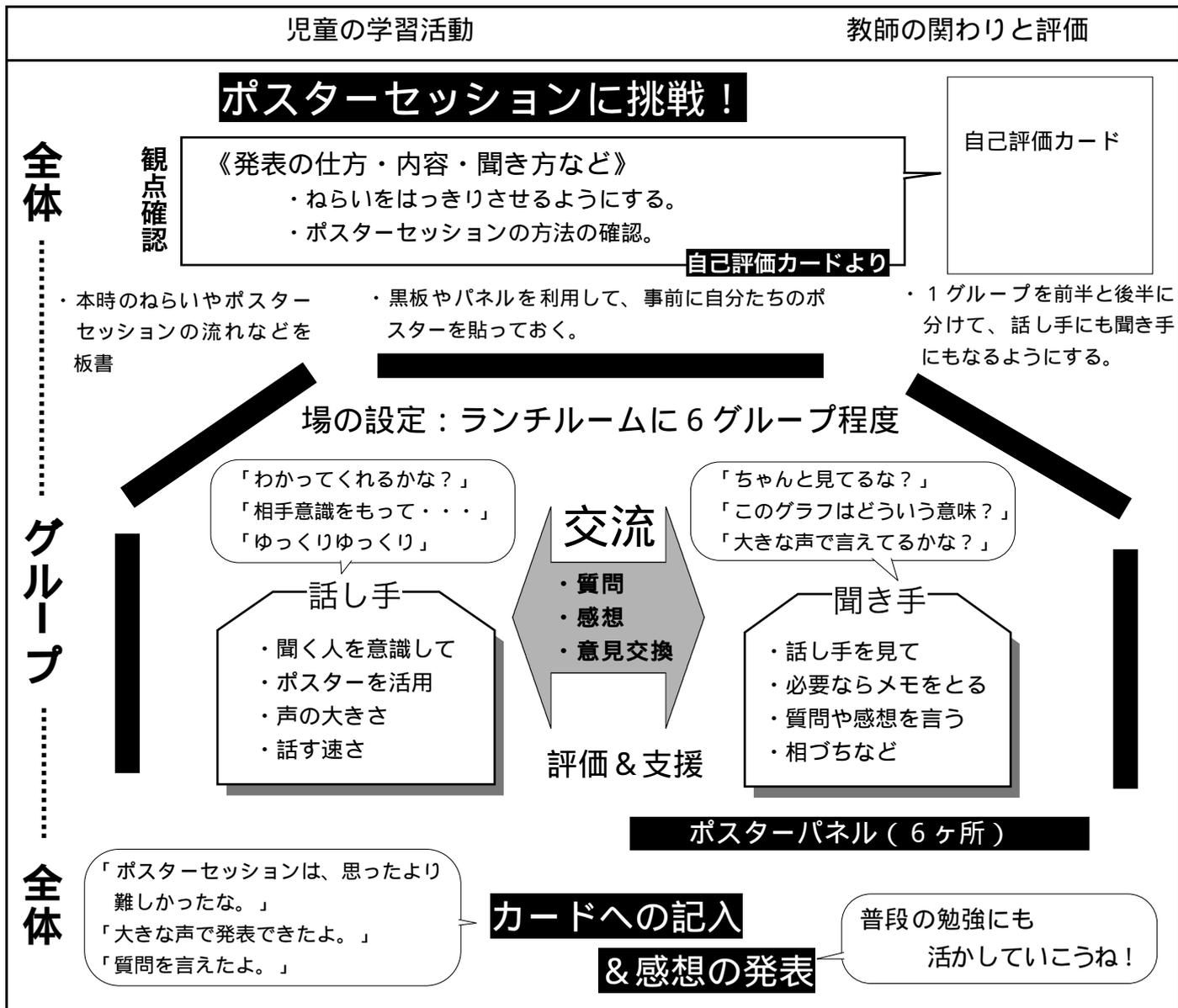
1、本時について

初めてポスターセッションに取り組む1時間。テーマを自分たちで考え、相談協力しながらポスターを作成してきました。6つの班(1班6人)を使い、ランチルームに6ヶ所のポスターを設置します。前半・後半に分け1時間の中で話し手・聞き手両方の経験をした中で、最後にふり返ってみたいと考えました。

2、目標

- 関心・意欲 意欲的にポスターセッションに参加することができる。
- 話す・聞く ポスターを効果的に使いながら、相手にわかりやすく話すことができる。
友だちの発表を聞き、質問や感想を言うことができる。

3、展開



評価 & 支援

評価：相手にわかりやすく話したり、友だちの発表を質問などを考えながら聞くことができる。

ポスターを活用しながら、相手にわかりやすく話すことができない。

手だて：聞き手にわかるような、補足の説明を促したり、補助発問する。EX「このところは、どういふことかな?」「このグラフを説明してごらん。」

質問や感想を発表することができない。

手だて：聞き手の観点に沿って考えさせる。EX「声の大きさはどうだった?」